

カブトガニの棲む海、曽根干潟を未来に!!

Part 1: 調査活動から見てきたこと

Part 2: できる人ができる時にできる事を～啓発・保全活動の実際～

講師：**Part 1:** 林修氏（日本カブトガニを守る会
福岡支部顧問）

Part 2: 高橋俊吾氏（同支部長）

日時：9月13日（金）13:00～15:00

場所：生物生産学部C314号室

【要旨】

Part 1: 曽根干潟のカブトガニ調査を手探りで始めて20数年が経過したが、幼体調査と産卵調査を行って行く中で、国内最大級の産卵生息地であることが明らかになった。曽根干潟個体群の特性や現状を紹介する。

Part 2: 国内最大級の生息地でありながら、保護のための法的な規制のない中で、どのような啓発活動やカブトガニの保護・曽根干潟の保全活動に取り組んでいるか、具体的な活動の現状や課題を紹介する。



※野生動物を保全することの意義、難しさ、活動などを学びましょう。

※この講演は5研究科共同セミナーとなります。

【問合せ先】大塚 攻（統合生命科学研究科）

（Tel 0846-22-2362; E-mail ohtsuka@hiroshima-u.ac.jp）